

上原博君(4組)の令和7年年末 日本滞在記

4組 丸山暢久

令和7年7月の頃、上原君から米国のお仲間とスペインに自転車旅行をするというメールが入った。フランス国境近くのサン・セバスチャンを起点にサンチャゴ・デ・コンポステラ迄の約1000kmを走破する計画だった。途中途中の彼や自然の写真を送って貰い、とても日本ではそのスケールの大きさを含めて喜寿の老体では困難を極める上原君の体力には驚くばかり。しかも彼はその前年にツアー中に枯れ葉に車輪を滑らせて転倒し、腰や脚の骨折までしたばかり。その回復力とチャレンジ精神には驚くばかり。その彼とはLINEを通じて昨今の米国の混乱した政治状況を頻りに議論した。彼の米国の現状を嘆く心持が痛い程伝わってきた。それが溜まりに溜まったのだろう、11月下旬に突然彼からメールが来て「急に思い立って12月1日から15日まで日本に帰る事にした」と連絡が入った。特に予定は無いが故郷日本的なものに対する恋しさ故のようだ。

既に日本での幾つかの予定は組んであり、浅倉君と私に何日か都合を付けて付き合っただけの希望。日本の大衆食堂で飲み食いする事を懐かしく思い、滞在中に気晴らしをしたいようであった。それはこれまで彼が抱えてきたアメリカ的なものが少しく失望に変わってしまった事のようなのだ。

扱、それからが日程調整に大忙し。私は地域の社団法人の会報を担当し、お正月号の原稿締め切りを10日に控えて自分の原稿も纏める必要もあり、お歳暮の手配、その他に孫にも関わらねばならずで現役時代並みの仕事量になった。まず浅倉君と日程調整し、更に上原君とは大学も同じの原田君と沓掛君にも打診した処、両君とも快諾してくれて再度日程調整や行先候補の検討。博君の予定済の日取りを除き5人の都合が付く日は6日(土)(沓掛君は予定あり。原田君は昼間に所用有りでパス)、9日(火)、13日(土)と決まった。残念ながら私の都合が急に入り9日が駄目になったが、博君が上手く調整してくれて彼は友人の配慮で草津温泉に行きゆっくりと温泉に浸かって疲れを癒したよう



左から 丸山（筆者）、上原、浅倉

うだ。

6日は上原君、浅倉君と私の3人で調布の深大寺に行く事になり調布駅で落ち合った。駅前からバスに乗り深大寺に到着。私も30年程前に来た記憶はあるが殆ど忘れた。その日は七五三でお子さん連れの人達が沢山来ていた。ブラブラしてるとお昼になり浅倉君の推薦で「青木」と言うお蕎麦屋さんに入る。結構有名らしい。店の前に池があり秋の紅葉の時期は多分綺麗なのだろう。昼食を済ませて神代植物園に向かう。かなり広大な自然園で広場では小さな子供がサッカーをしていた。広いバラ園に来て写真を撮ったり、そぞろ歩きをしていた際に私が博君に「何故、急に来日する気になったの？」と聞いたら彼は「昨今の米国政治の乱雑さに辟易していた自分をTrudy(奥さん)が気を配ってくれて、日本に行って気晴らしして来なさい、と言うので急遽決めた」との事。実に懐の深い奥さんであると感心した。我が家で

はとても無理。次に温室に行ったら各種類の胡蝶蘭の園、別棟ではこれも珍しいサボテンが沢山あり見応えがあった。当日は凄く良い陽気で芝生に座って暫しお喋り。暖かい冬の日光に気が安らぐ。夕刻に近づいてバスで駅前に戻り、博君の待ちに待った居酒屋探し。呼び込みの若い男性の招きに応じて4階まで。小さな一部屋が空いており早速注文。だが新しい注文方式は面倒だ。QRコードから携帯を使って注文とある。いい加減で面倒になり従来式に呼び鈴で呼んで漸く注文。和食中心に頼んだが意外に美味しく上原君もスッカリ満足気味。陽気が良かったせいかビールも旨かった。多分1時間一寸したと思うが女の店員が「お時間でーす」と退席を促された。2時間までと思ったが、そこで気が付いた。呼び込みのお兄ちゃんが「最後の1席が空いています」と言っていた。我々はその席が(店の定刻の)時間を経過していた後で入店したのだな?と察した。精算して1階に下りたら次のお客達が待っていた。まあ博君も我々も割合美味しかったから「良し」とした。



元に戻るが上原君は日本に到着後、円が必要なので彼方此方で米国のカードで円の引き出しを試みたが何処でも全く出来ず困っていた。そこで植物園に入る時に試しにカードで処理できるか園の入り口のカードリーダーでやったら思いがけずに処理が出来た。彼の喜びは子供の様であった。70歳?以上は割引で一人60円(笑)位だったので浅倉君と私で各60円を博君に払い、少しでも円を貯める事にした。だから居酒屋でも同様にして博君がカードで払い我々の分は現金で彼に払う事で少しづつ円をストックした訳。それにしても米国のカードが日本で円に換金できないとはビックリ!!! (でも引落しが出来て良かった〜。カードリーダー様様)。初日は駅で散会し次の予定を確認。



13日(土)は沓掛君も合流。原田君も合流の予定だったが12日と13日の予定を勘違いし、13日が大腸の内視鏡健診だった為残念ながら欠席。今日の予定は沓掛君の提案もあり、芝離宮と浜離宮散策にした。スタートは博君の要望に沿い有楽町付近のガード下のラーメン屋にした。私は新橋で降りて山手線沿いに有楽町に向かい、何処のラーメン屋が良いか点検しながら予定時刻の11時30分に有楽町駅で合流。歩いて分かったのだが、人通りはかなり多かったが店を開いている処が早いせいか少なかった。目を付けていた「喜多方ラーメン店」に行ったら、さっきは空いていたが着いた時はほぼ満席。ところが運よく4人席が空いたので即、注文。ガード下で食べるのは昔、東京駅近くの東京ビルの事務所に勤務していた頃以来で麻雀しながら食べたのが懐かしい。

食事後、徒歩で新橋駅に向かい次の浜松町駅で下車。下車してよく確認せずに出た場所が悪かった。芝離宮の周囲を廻るが中々入り口に着かない。ついに一回りしてほぼ浜松町駅の北口辺りに来たところで入り口に着いた。沓掛君はかなり疲労困憊の様子だが一先ず切符を買って(勿論今回も上原君がカードで払い我々は現金で彼に払って円を貯める)直ぐ近くの縁台に座り暫しお喋りに興

じた。休憩して一回りしたら数百メートル離れた浜離宮に向かう。流石に浜離宮はバスで来る観光客が多く賑やか。ここも彼方此方回遊し途中の売店で土産を買って休憩。再度回遊しながら海辺に来ると遠くに東京スカイツリーが見えた。偶然にも 4 人と



左から上原、浅倉、沓掛

も行った事が無く、次に上原君が来日する時に皆で行こう！と決めた。その時は博君の奥様も連れてお出でと約束した。

また暫く歩いて出口に到着。16 時近くでも未だ観光バスが来て結構賑やか。皆、若いので歩いて新橋ま

で行く事にした。土曜日だがやはり結構賑やかで呼び込みのお兄ちゃん達が大勢声をかける。予定の寿司屋はまだ時間が早く開いていないので再度練り直して或る居酒屋が良さそうなので暫し待機。此处もかなり混んでいて 10 分ほどで席に案内される。今日は皆かなり歩いたので疲れたがビールで乾杯して

注文した料理を食べると又、元気が出てくる。最近の居酒屋は競争が激しいせいか何処も割合美味しいものが多い。丁度頃合いの時間が来たので上原君との再会を期して乾杯し、此处でも博君がカードで精算し我々は割り勘分を現金で渡す。帰りがてら次の再開を再度確認して新橋駅で解散した。上原君は数年前に京都に奥様と行った時に修学院を参観したようだが歴史的な建造物や庭園等も好きなようなので今回の締めには二つの離宮参観はストレス解消と息抜きには良かったと思う。今頃は奥様と日本の新年はこうして迎えるんだよ、とか話しているかもしれない。尤も、彼の事だから既に詳細に説明済だろう。



以上